



2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年5月14日

上場会社名 かつこ株式会社 上場取引所 東
コード番号 4166 URL <https://cacco.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岩井 裕之
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理担当執行役員 (氏名) 中沢 雄太 TEL 03 (6447) 4534
四半期報告書提出予定日 2024年5月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年12月期第1四半期の業績（2024年1月1日～2024年3月31日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	166	△36.6	△77	—	△77	—	△77	—
2023年12月期第1四半期	263	7.0	29	△38.4	29	△40.0	19	△41.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	△28.99	—
2023年12月期第1四半期	7.44	7.25

（注）2024年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	1,199	1,005	83.8
2023年12月期	1,286	1,072	83.4

（参考）自己資本 2024年12月期第1四半期 1,005百万円 2023年12月期 1,072百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年12月期の業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	713	△25.1	△304	—	△307	—	△307	—	△115.29

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期 1 Q	2,712,655株	2023年12月期	2,669,584株
② 期末自己株式数	2024年12月期 1 Q	一株	2023年12月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期 1 Q	2,675,021株	2023年12月期 1 Q	2,633,104株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明内容の入手方法）

四半期決算補足説明資料「2024年12月期第1四半期決算説明資料」は、T D n e t で同日開示した後に当社ウェブサイトに掲載する予定です。また、当社は、2024年5月14日（火）に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会の動画及び当日配布する決算説明会資料については、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2024年1月1日～2024年3月31日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぎ、緩やかながらも景気持ち直しの期待が高まる状況にありましたが、ウクライナ情勢の長期化や中東情勢の悪化など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクがあり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

消費者向け電子商取引(BtoC-EC)市場は、経済産業省による調査「令和4年度デジタル取引環境整備事業(電子商取引に関する市場調査)報告書」によると、2022年は前年比9.91%増の22.7兆円となり、依然として高い成長率を維持しております。また、EC化率(全ての商取引市場規模に対する電子商取引市場規模の割合)が前年比0.35ポイント増の9.13%となるなど、BtoC-EC市場は依然として着実な成長を続けております。

一方、クレジットカード番号等の情報を盗まれ不正に使われる「番号盗用被害」が急増している近年の状況を受け、改正割賦販売法において、クレジットカード番号等の不正な利用を防止するために必要な措置を講じることが義務化され、また、その実務上の指針となる、「クレジットカード・セキュリティガイドライン4.0版(クレジットカードセキュリティ協議会)」においては、EC加盟店におけるEMV3-Dセキュアの導入が求められるなど、不正対策に対する社会的要請はますます高まっております。

このような事業環境のもとで、当社は「未来のゲームチェンジャーの『まずやってみよう』をカタチに」という経営ビジョンを掲げ、当社の有するセキュリティ・ペイメント・データサイエンスの技術とノウハウをもとに、アルゴリズム及びソフトウェアを開発・提供することで、企業の課題解決やチャレンジを支援する「SaaS型アルゴリズム提供事業」を展開してまいりました。

不正検知サービスにおいては、不正注文検知サービス「0-PLUX」について、主要取引先に依存していた収益構造を転換させるため、導入障壁の解消、プロダクトの付加価値向上、販路拡大・市場開拓の推進に努めました。その結果、当第1四半期累計期間の「0-PLUX」のストック収益額(定額課金である月額料金と審査件数に応じた従量課金である審査料金の合計額。「不正チェッカー」を含む。)は108,506千円(前年同期比44.9%減)となりました。また、不正アクセス検知サービスにおいては、金融機関・会員サイト等における不正アクセス・不正ログインをリアルタイムに検知する不正アクセス検知サービス「0-MOTION」および、情報詐取の手段であるフィッシングメールやフィッシングドメイン検知、さらに詐取した個人情報で行うなりすましログインをワンストップで対策できるフィッシング対策パッケージ「鉄壁PACK for フィッシング」の受注獲得に努めました。

決済コンサルティングサービスにおいては、システム開発保守案件の受注獲得に努め、また、データサイエンスサービスにおいては、データ分析案件の受注獲得に努めました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は166,768千円(前年同期比36.6%減)、営業損失△77,194千円(前年同期は営業利益29,937千円)、経常損失△77,415千円(前年同期は経常利益29,622千円)、四半期純損失△77,548千円(前年同期は四半期純利益19,600千円)となりました。

なお、当社はSaaS型アルゴリズム提供事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は995,881千円となり、前事業年度末に比べ81,976千円減少いたしました。これは主に現金及び預金が65,855千円減少したことによるものであります。固定資産は203,980千円となり、前事業年度末に比べ4,712千円減少いたしました。これはソフトウェアが8,907千円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は1,199,862千円となり、前事業年度末に比べ86,689千円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は115,992千円となり、前事業年度末に比べ15,289千円減少いたしました。これは主に買掛金が17,054千円減少したことによるものであります。なお、固定負債は78,376千円となり、前事業年度末に比べ4,261千円減少いたしました。これは主に長期借入金が4,764千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は194,368千円となり、前事業年度末に比べ19,551千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は1,005,493千円となり、前事業年度末に比べ67,138千円減少いたしました。これは主に四半期純損失の計上により利益剰余金が77,548千円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は83.8%（前事業年度末は83.4%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月14日付で「2023年12月期決算短信」において公表いたしました2024年12月期通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	941,093	875,238
売掛金	95,214	67,727
仕掛品	495	495
未収還付法人税等	15,125	15,125
その他	25,929	37,294
流動資産合計	1,077,858	995,881
固定資産		
有形固定資産	3,811	4,046
無形固定資産		
ソフトウェア	103,144	94,237
無形固定資産合計	103,144	94,237
投資その他の資産		
その他	121,240	125,199
貸倒引当金	△19,503	△19,503
投資その他の資産合計	101,736	105,696
固定資産合計	208,693	203,980
資産合計	1,286,551	1,199,862
負債の部		
流動負債		
買掛金	31,787	14,733
1年内返済予定の長期借入金	14,292	15,483
未払法人税等	2,758	1,362
賞与引当金	13,565	11,414
その他	68,878	72,998
流動負債合計	131,281	115,992
固定負債		
長期借入金	82,135	77,371
繰延税金負債	502	1,005
固定負債合計	82,637	78,376
負債合計	213,919	194,368
純資産の部		
株主資本		
資本金	376,188	380,495
資本剰余金	552,399	556,707
利益剰余金	144,312	66,764
株主資本合計	1,072,901	1,003,967
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△269	1,526
評価・換算差額等合計	△269	1,526
純資産合計	1,072,631	1,005,493
負債純資産合計	1,286,551	1,199,862

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	263,022	166,768
売上原価	82,407	64,974
売上総利益	180,615	101,793
販売費及び一般管理費	150,678	178,987
営業利益又は営業損失(△)	29,937	△77,194
営業外収益		
受取利息及び配当金	3	4
その他	194	294
営業外収益合計	198	298
営業外費用		
支払利息	4	135
その他	508	383
営業外費用合計	512	519
経常利益又は経常損失(△)	29,622	△77,415
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	29,622	△77,415
法人税、住民税及び事業税	7,903	132
法人税等調整額	2,119	—
法人税等合計	10,022	132
四半期純利益又は四半期純損失(△)	19,600	△77,548

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期累計期間(自2023年1月1日至2023年3月31日)

当社は、SaaS型アルゴリズム提供事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期累計期間(自2024年1月1日至2024年3月31日)

当社は、SaaS型アルゴリズム提供事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。